



校長室の窓から

「撞き鐘も 響くやうなり 蝉の声」

つきかねも

ひびくやうなり

せみのこえ

松尾 芭蕉 (まつおばしょう)

校長 井久保 康彦

梅雨の末期には毎年必ずと言っていいほどの豪雨災害に苦しめられます。今年も全国各地で多くの人的・物的な被害が発生しています。被災された皆様には心よりお悔やみを申し上げますとともに一日も早い復興のお手伝いができないものかと考えるばかりです。

さて、梅雨明け間近となり、時折照りつける夏の日差しに教室の生徒たちもぐったりとした様子がうかがえます。御家庭では朝夕のお子さんの様子を観察していただいて、熱中症予防や健康管理にも十分に御配慮ください。

ところで、来週から夏季休業に入ります。長い休みをしっかりと計画的に過ごし、9月1日には全員が元気に登校できるようにお願いしたいです。特に3年生にとっては、高校入試に向けた「勝負の夏」でもあります。昔から「夏を制する者は受験を制す」と言われるように、寸刻を惜しんで勉強にいそしんでほしいものです。また、自由になる時間がたくさんある中で多くの本を読むことや、お盆の帰省などで親戚や家族以外の方々とふれあう機会をとおして、1・2年生も自分の進路について考える機会をたくさん設けてほしいと思います。

童話作家で詩人の「宮沢賢治」は、彼が小学校5年生のときに、父親から「お前は何になる」と聞かれ、「むやみに偉くならなくてもいい」と答えました。そこで再び父親から「それでは何になる」と吐られたところ「寒いときには鍛冶屋になればええし、暑いときには馬車屋の別当になればええ」と答えたそうです。その後、彼は農林学校を卒業し、農学校の教師になりますが、その間、短歌や小説などの文筆活動をしていました。36歳のころ病床で書いた「雨ニモマケズ」という詩がとても有名です。

雨にも負けず
 風にも負けず
 雪にも夏の暑さにも負けぬ
 丈夫な体を持ち
 欲はなく
 決して怒(いか)らず
 いつも静かに笑っている
 一日に玄米(げんまい)四合と
 味噌(みそ)と少しの野菜を食べ
 あらゆることを
 自分を勘定(かんじょう)に入れずに
 よく見聞きしわかり
 そして忘れず
 野原の松の林のかげの
 小さな萱(かや)ぶきの小屋にいて
 東に病気の子どもあれば
 行って看病(かんびょう)してやり
 西に疲れた母あれば
 行ってその稲の束(たば)を負い
 南に死にそうな人あれば
 行ってこわがらなくてもいいと言
 い
 北に喧嘩(けんか)や
 訴訟(そしょう)があれば
 つまらなからやめろと言
 い
 日照(ひでり)の時は涙をながし
 寒さの夏はオロオロ歩き
 みんなにデクノボーと呼ばれ
 ほめられもせず
 苦にもされず
 そういふものに
 わたしはなりた

ここに描かれているのは「本当にできるのかわからない不安定な気持ちを持ちながらも何かに向かって憧れ続けて、進みたいと思う人間の姿」です。自然の脅威・複雑な現実など実際には人の手に余るものは多い中で、「たとえ何もできず役に立たないとしても他の人のために何かをする、行動する、動く、実践する、そういったことを大切にしたいとする」宮沢賢治の思いが表現された作品です。

彼は、37歳の若さで亡くなりましたが最後まで貫いた生き方の基礎は、この詩からもうかがえるように小学5年生ですでに出来上がっていたように思われます。

これから生徒の皆さんには夏休みという自分で自由に活用できる時間がやってきます。自分がこれから先の人生をどう生きていきたいのか、たくさんあるように思える限られた時間を有効に活用しながら考えてみてほしいものです。



健康教室

6月9日 健康教室
～3年ぶりの心肺蘇生法講習会～



この3年間は新型コロナウイルス感染症予防のため対面での講習会を取りやめていましたが、本年度は、阿久根消防署の協力を得て心肺蘇生法講習会を保護者も参加して行いました。

消防署員の説明や見本を参考に心臓マッサージを行いました。力強く押さなければならぬため、思っていたより大変だったようです。

その後、AEDの使用方法を学び、「使う機会がないほうがいいけど、そのときはこの経験を生かしたい」と感想を述べていた生徒もいました。



授業参観・学級PTA

6月30日 授業参観・学級PTA



3年生は国語、1・2年生は保健体育の授業を見ていただきました。

授業参観ではありましたが、どちらも保護者に参加をお願いして共に学んでいただきました。

その後、学級PTAで1学期の生徒の様子や夏休みに向けた内容などについて話し合いました。

お忙しい中、出席していただきありがとうございます。



あと10日ほどで生徒が楽しみにしている夏休みが始まります。夏休みは、普段できない体験に挑戦する絶好の機会です。家庭でも有意義な夏休みになりますようお子さんと夏休みの計画について話し合いをお願いします。

夏休みは、生活のリズムが乱れたり、体調を崩したり、問題行動に巻き込まれたりしやすい時期でもあります。そこで、次の三つのことに気を付けて毎日を元気に過ごしてください。

第一に、基本的な生活習慣を崩さないこと

「早寝・早起き・朝ごはん」は夏休み中も続けましょう。

第二に、毎日学習する習慣を維持すること

夏休みの課題等も計画的に進め、音読や読書も含め、毎日こつこつ取り組みましょう。

第三に、行動面でのよい習慣を身に付けること

挨拶や手伝い、整理整頓等これまで身に付けたよい習慣を継続しましょう。

また、交通ルールなどのきまりを守り、自分の健康・安全、そして大切な命を守ることができるよう、よりよい習慣を身に付けましょう。

夏休みを終えて、よりたくましく成長した皆さんとの再会を楽しみにしています。

主な行事予定

月	日	曜	7月～9月前半の主な行事
7	12	水	おはら節・ハンヤ踊り学習
	13	木	学校運営協議会
	14	金	かごしまジュニア検定1・2年 出水中央高等学校訪問
	20	木	終業式 美化作業
	21	金	三者面談(～28)
	29	土	みどこい祭
8	1	火	出校日 PTA 役員会・評議員会
	11	金	リフレッシュウィーク(～17)
	14	月	閉庁日(～15)
	21	月	出校日
9	27	日	PTA奉仕作業
	1	金	始業式 身体測定
	4	月	実力テスト(～5)
	6	水	体育大会予行練習
	10	日	第77回体育大会

水難事故防止、熱中症対策に努め、夏休みの計画を立て、健康に過ごしましょう。

○阿久根市小・中弁論大会
最優秀賞：若松 夢空 ★おめでとう★
「命のバトンをゴールまで」

○英検合格
4級：上野 天、道上 葉月
5級：児玉 成海

中体連県総合体育大会出場(個人)
男子ソフトテニス：田原 琉輝・的場 舜
柔道 55kg：上 裕紀